さいたま市PTA協議会
saitama.city
http://www.saitama-city-pta.jp

市P協 さいたま

No.30
平成28年3月7日
発　行　さいたま市PTA協議会
編　集　広報・情報委員会
事務局　さいたま市大宮区大門町3-1
大宮区役所東館1F
TEL 048-647-4401
印　刷　秀明美術印刷社

「自分の身は自分で守る！」

不審者事例データと対処方法

埼玉県警察のマスコット
「ポッポくん」

防犯対策においては、さまざまな対応策がある。私達はある程度自分の身は自分で守る事も必要ではないかと考え、不審者事例とその対策について、大宮警察署生活安全課に取材をした。

水曜16時は要注意！

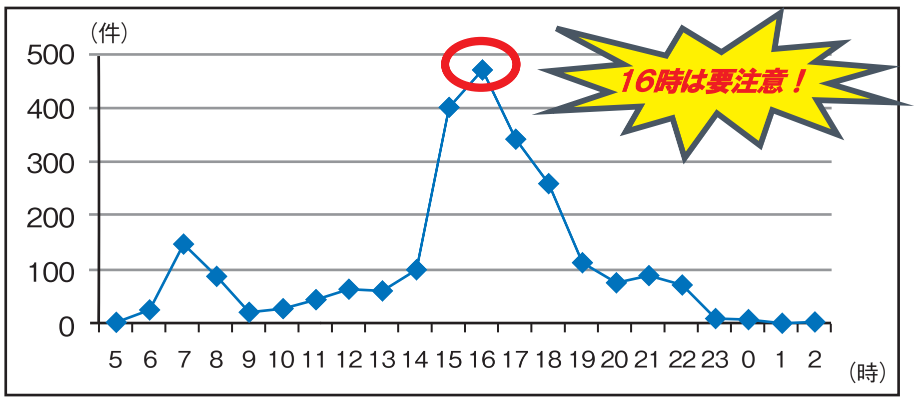
まず初めに注目したいのは図1の「子どもに対する声かけ事案」時間帯別発生状況である。この図で見る様に15時から16時が最も多く発生しており、学校帰りや遊びからの帰宅時間帯である夕方が狙われやすい事がよくわかる。また朝7時が多いというのは、意外と知られていない時間帯ではないだろうか。

次に月別ではどうなっているか図2で確認してみよう。平成26年と平成27年の資料だが、意外にも8月がもっとも少ないのがわかる。図1と図2を一緒に見るとその理由は日照時間が長く、犯罪をしにくい季節だからと考えることができる。それとは反対に、9月から一気に増えているのも防犯の知識として知っておくべきだろう。

更に興味深いのが、図3の曜日別発生状況である。水曜日が多く土曜、日曜が一番低い事も知っておくべきだろう。

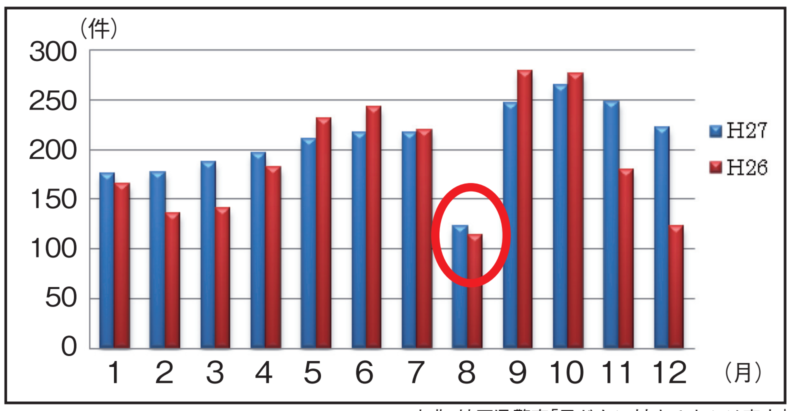
勿論、これらのデータが全てでは無いが、意外な面を知ることが出来た。

図1　「声かけ事案」時間帯別発生状況



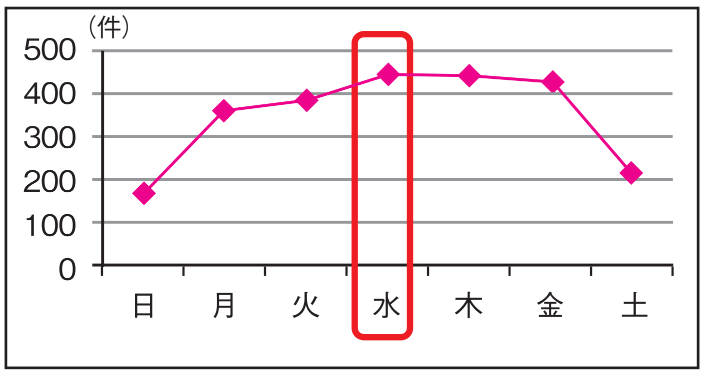
出典：埼玉県警察「子どもに対する声かけ事案」

図2　「声かけ事案」月別発生状況



出典：埼玉県警察「子どもに対する声かけ事案」

図3　「声かけ事案」曜日別発生状況



出典：埼玉県警察「子どもに対する声かけ事案」

不審者に声をかけられたら

『不審者に声を掛けられた時にどうすればいいの？』の質問に一般的には「110番の家へ駆けこむ」「走って逃げる」「大声をだす」「防犯ブザーを鳴らす」等がある。図4の様に自分自身でも対応出来る方法や図5の様な不審者との距離間や逃げ方もあるのでここに紹介する。とっさの時に一番取れる行動としては「足を踏みつける」ことではないだろうか。子どもだけでなく、力の弱い方にも参考になれば幸いである。

今回の取材では、防犯についてはありきたりのパンフレットでの話と思いきや、生々しい話を聞くことが出来た。

家庭で防犯について話し合う契機にしていただければと思う。

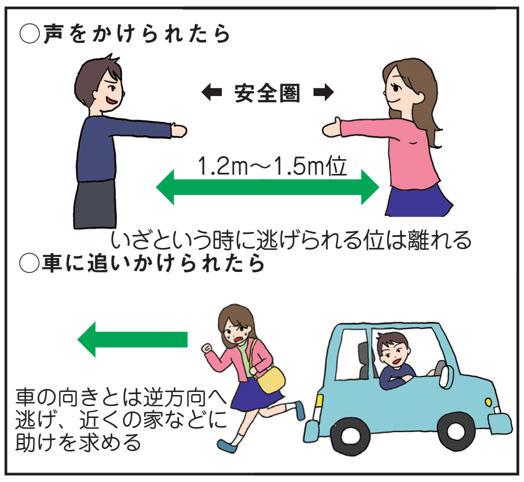
図4　セルフディフェンスの方法

出典：埼玉県警察「女性のためのセルフディフェンス」

素早い行動で隙をみて逃げましょう！

女性警察官の親しみやすさをイメージ「ポポ美ちゃん」

図5　距離と逃げ方



出典：埼玉県警察「女性のためのセルフディフェンス」

【豆知識】110番通報のつながり方

埼玉県の110番通報は浦和本部につながり、そこから5つのエリアに指令が入り各署及び各パトカーに指令が入る。

各警察署に直接通報するよりも、110番通報が、即対応につながる。警察側としても「まずは110番通報し、落ち着いて情報を話し、警察の指示にしたがって行動して欲しい」と話していた。しかし、事件性の無い通報も多いが、ここでは110番の有効性を知っていただきたい。

知ってる？ 知らない？ シリーズ 区P連紹介

さいたま市ＰＴＡ協議会は10区の連合会(区Ｐ連)で構成されている。区Ｐ連はそれぞれ特色のある運営を行っている。そこで、なかなか知る機会の少ないその活動の様子をシリーズで紹介する。今号では西区と桜区を紹介する。

西 NISHI 区　独自事業で固い結束　西区

さいたま市北西部に位置する西区は、小学校８校・中学校６校・特別支援学校1校で連合会を構成している。区Ｐ連発足当時から区内各校の結束は固く、それが作品展やスポーツ大会という当区連の独自事業につながったとのこと。これら２事業は市Ｐ協「子どもの顔が見える事業」に認定され、補助を受けている。市Ｐ協の中で２事業が認定を受けているのは当区Ｐ連だけである。ここではそれら２つの事業の様子を紹介する。

～子どもたちに表彰の機会を～ 西区小中学生夏休み作品展

「西区小中学生夏休み作品展」は毎年西区役所市民ホールをお借りして２週間あまり作品を展示している。13年前、絵画展からスタートし、工作・書道と対象を増やしてきた。当作品展は、既存絵画展・作品展以外にも表彰の機会を増やし、子どもたちに表彰の喜びや、意欲を引き出す目的を持っている。そのため、小中学校及び特別支援学校（学級）全学校から作品を募集している。

表彰式の様子

展示の様子。作品はホームページで公開中 http://www.saitama-city-pta.jp/01_nishi_ku/

そして作品展示と並び表彰式が重要と考えている。表彰式には区長･市Ｐ協会長･各校校長にご出席を頂き、子どもたちの心に残るような格調高い式になるよう心がけている。

作品の搬入･展示および表彰作品展の運営は持ち回りで担当校が行っており、式典は各校ＰＴＡ会長や役員が主体となって行っている。今年は表彰式を公民館で行うなど、事業の意図と精神を引き継ぎつつ、時代にあったやり方を模索している。

～地域と連携～ 西区スポーツ大会

「西区スポーツ大会」は中学校の部活動を対象にして、当区Ｐ連独自に開催している。年３回の大会の内、夏の大会がなくなり、３年生は春の学校総合体育大会で引退。試合で表彰される機会が減ってしまった。そのため作品展と同様の目的で９年ほど前にサッカー大会を開催したのがその始まりである。年々種目が増え現在はサッカー、ソフトボール、女子バレーボール、バスケットボール、野球、剣道、ソフトテニスと、男女併せて10種目を数えるようになった。子どもたちに「本物の」経験をしてもらうために、競技ごとに公式審判員を招いている。本大会は現在、青少年育成会、さいたま市西区スポーツ振興会と区Ｐ連の共催事業として、地域から多大な支援を受けて運営されている。規模の大きな大会となり運営は大変であるが、子どもたちの清々しい笑顔をみることができ嬉しく思っている。

剣道の様子。試合結果や各種目の様子はホームページで（URL は左図を参照）

地域の皆様及び関係諸団体に感謝を申し上げ、今後も子どもたちのための活動を続けていきたい。

桜 SAKURA 区　ともに！～今できることを～

さいたま市南西部に位置する桜区は、小学校８校・中学校４校の計12校で連合会を構成している。桜区Ｐ連は、子どもが大好きな大人の集まりであり、その心に正直な活動をしていきたいと、様々な取りくみをしている。そのいくつかを紹介したい。

子どもの顔が見える事業 親子ふれあいフェスタ

桜区と桜区Ｐ連が協力して、毎年親子ふれあいフェスタを開催している。桜区地域スポーツクラブさくらっくと共同で企画運営を行い、子どもと親がスポーツを通じてふれあえる場を作った。浦和レッズのハートフルクラブの皆さんにご指導いただけるサッカー教室は、毎年大人気で抽選になるほどである。プロの素晴らしい指導と、共にプレイできる喜びで、親子に笑顔が絶えない様子が毎年印象的である。

親子ふれあいフェスタ

さいたま市ＰＴＡ協議会の「子どもの顔が見える事業」の支援を受け、地域の子どもたちに普段できない体験をしてもらい、親子のふれあいの場となるこの活動を今後も継続開催していく。

被災地子ども支援 アルミ缶資源回収

東日本大震災によって、多くの子どもたちがつらい体験をした。桜区Ｐ連では被災地子ども支援のための「アルミ缶資源回収」を2011年7月から開始。アルミ缶の資源回収で得た収益を義援金として被災地の子どもたちへ送る活動を行っている。支援先の南三陸町との絆は深まり、お礼として届いたワカメを給食に使うなど、温かい交流が続いている。

アルミ缶資源回収

笑顔であいさつしていますか？ あいさつ運動

12校全体で、あいさつ運動の推進に取りくんでいる。毎学期の開始1週間、登校時に保護者や教職員であいさつ運動を行う。12校で揃えたのぼりを使用し、桜区全体に元気なあいさつの声がいきかう。最近では小中一貫の取りくみのひとつとして、中学生が母校の小学校を訪れあいさつを行うこともある。中学生は懐かしさを感じながら、小学生は立派な先輩の姿に感化される朝の風景が見られる。

あいさつ運動

子どもたちがしっかりとした「あいさつ」ができるように、桜区全体で応援していく。

使おうAED ～ASUKAモデルに学ぶ～

救急車は、通報から到着までに６～８分かかるといわれる。なにもせず待つには長く、救命率も大きく低下してしまう。ではその間どうすれば良いのだろう。平成23年9月、市内の小学生が駅伝の練習中に倒れ亡くなった。彼女がけいれんと、あえぐような呼吸をしていたことから誰も心臓が止まっていることに気付かず、ＡＥＤは使用されなかった。このようなことが２度と起こらぬよう、市は緊急時マニュアル『ＡＳＵＫＡモデル』を新たに作成した。最も大切なことは「迷った時は躊躇せずＡＥＤを使用すること」。『ＡＳＵＫＡモデル』は教員研修用のテキストであるが、さいたま市のホームページで公開されていて、実践的でもあるので学校以外でも役立つものとなっている。私たちもこれに学ぶ必要があるのではないか。

この新たな行動指針と共に、翌年から市立小中高校生たちもＡＥＤや心肺蘇生について学び、中高校生は実技講習も、小学生はＡＥＤを知ることや設置場所を確認することから教わっている。

ＡＥＤは起動すれば使用方法がすべてアナウンスされ、必要か否かも解析してくれる。誰でも使うことができるので迷わず手に取って欲しい。非常時でも落ち着いて行動出来るよう、講習を受け、いつでも扱えるようにしておきたい。

実技講習の様子

講習は消防署、自治体、学校等で行っているので、機会があればぜひ活用してみてはいかがだろう。

市P協　事業報告

市Ｐ協では10区の連合会が力を合わせ、さまざまな事業を展開している。今回は、『南郷・舘岩少年自然の家視察研修・環境整備』と『平成27年度いじめ防止シンポジウム』をクローズアップして市Ｐ協事業名称の列記とあわせて紹介をする。

南郷･舘岩少年自然の家　視察研修･環境整備
主催　さいたま市PTA協議会

平成27年11月14日（土）～15日（日）の2日間、南郷・舘岩少年自然の家の視察研修・環境整備に市内各校のＰＴＡ役員41名が参加した。小雨の降る中、朝7時に大宮区役所前をバスが出発。まずホテル南郷に到着し館内見学をした。昭和63年開設の大変きれいなホテルで、見事な露天風呂もある。隣接するさゆり荘も見学した。こちらは築40年だが、内装はきれいである。ホテル南郷とさゆり荘に男女分かれて宿泊する学校は多く、各校上手に施設を利用されているようだ。現在市内20校を受け入れている。4月以降、赤城少年自然の家が廃止になり、それにともなう舘岩の工事（約2年間）の間は、ホテル南郷とさゆり荘も多くの学校が利用する予定である。

午後は南郷スキー場を見学した後、舘岩少年自然の家へ。入所式やリネンの説明など、子どもたちと同じ事を体験する。キャンドルファイヤーやジンギスカンダンスなども体験でき楽しいひと時を過ごした。

竹串作り

イワナさばき

2日目はイワナさばきを体験した。雨のためピロティで行った。気絶させ内臓を出し串刺しにする作業は、子どもにとっては衝撃的であり、泣き出す子もいるそうだ。しかしこの作業のあと、骨まで美味しくイワナをいただく、つまり「命をいただく」ということは何より貴重な体験である。イワナを焼く間、奉仕作業としてイワナを刺す竹串作りを全員で行った。中には職人並みの腕前の参加者もおり、器用に何本も作っていた。所長が「舘岩で過ごせば、子どもたちは必ず来た時と変わって帰っていく」と話された。ここで子どもたちは、自然に触れ、自然に学び、自然で鍛えられて過ごす。舘岩少年自然の家は素晴らしい教育施設であると実感することができ、有意義な2日間であった。

舘岩にて 集合写真

平成27年度 いじめ防止シンポジウム
主催　さいたま市及びさいたま市教育委員会

8月25日（火）14時からさいたま市文化センター大ホールにて平成27年度いじめ防止シンポジウム　～本気で話し合おう!本気で考えよう!～　が開催された。教育委員会、小・中学校、児童・生徒及び教職員代表、ＰＴＡ関係者で2000人収容可能な大ホールがほぼ満席で開会した。開会に先立ち、さいたま市長は「教育に対する思い」の中で『命の大切さ』『人は人に愛されている』事を身の上話を交えながら語られた。そして国立教育政策研究所長から、「21世紀を担う君たちへ―未来に備える教育―」をテーマに、たくさんのデータをもとにご講演をいただいた。パネルディスカッションでは、さいたま市民フリーアナウンサー町亞聖氏コーディネートのもと、各代表のパネリストによる、いじめ撲滅に対して色々な意見が発言された。あらゆる立場の視点でのディスカッションは、とても有意義なものと感じた。いじめ撲滅の為の啓発を目的に、さいたま市ＰＴＡ協議会で「いじめ防止スローガン」を作成し、代表して常任理事を中心に11名が登壇し発表及び唱和した。さいたま市ＰＴＡ協議会としては、この宣言の言葉をしっかりと定着させることが、いじめ撲滅へ向けての大きな一歩になると感じた。

パネルディスカッションの様子

（写真左から）コーディネーター　町氏
パネラー　大槻所長、清水市長
原 中島小 PTA 会長
児童代表（北浦和小学校６年）
生徒代表（土合中学校３年）、田邉 春里中学校長

児童・生徒代表の声

- いじめの傍観者にならず、人はそれぞれ違う。
- 大人には気づいて欲しい。
- 親に心配掛けたくない。
- 友達に相談したい。
- 助けてほしい。
- 大人に話すと事が大きくなる。
- 先生が相談にのる場合は、おおごとにならないように話すタイミングや場所の配慮をして、まずは話を聞いてほしい。

いじめ防止スローガン

みんなで子育て　よく見て、よく聞き、よく話そう！

見逃しません、子どもの小さな変化

ためらいません、子どもとの対話

連携します、家庭・学校・地域

さいたま市ＰＴＡ協議会作成

その他の事業報告

５月14日	広報紙づくり講習会
６月20日	定期総会・懇談会
７月　２日	役員セミナー
10月　２日	教育委員会との交流会
10月24～25日	関東ブロックＰＴＡ研究大会横浜大会
11月17日	役員研修人権啓発講演会
１月27日	ＰＴＡ活動総合補償制度説明会
２月　５日	教育委員会との懇話会

募　集　自慢の広報紙をコンクールへ

ＰＴＡ広報紙コンクールを開催します。
３月25日（金）までに27年度の広報紙を市Ｐ協へ送ってください。詳しくはすでに送付されています「開催要項」をご覧下さい。

祝 （公社）日本PTA全国協議会 入選

三行詩　佳作

「勝ってこい！」初めて言われた父の言葉
涙で帰った　その夜に
そっと言われた「お疲れさん」

大谷口中学校３年 川村 恵斗さん

祝 広報紙コンクール

教育家庭新聞社社長賞　八王子中学校

佳　作　与野南小学校

奨励賞

仲本小・中島小・春岡小・土合小・見沼小
本太中・土合中・七里中

食べ物に関心、持っていますか？

もう一度考えてみよう！アレルギーのこと、生活のリズムetc

食育

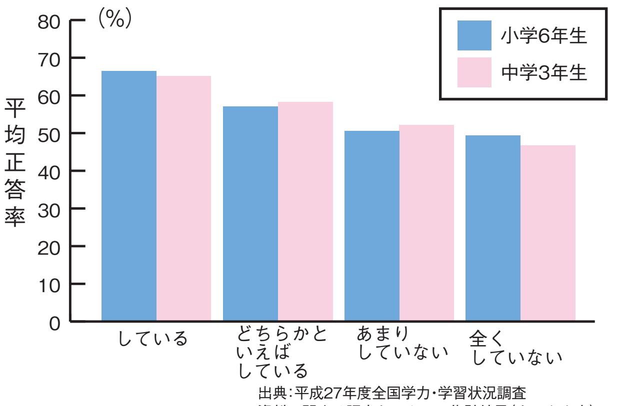
生活のリズムを整えよう！
朝ご飯と学力の関係

「朝寝坊して、食パンをくわえて家を飛び出していく」、マンガでよく見かける一コマだが、皆さんの家庭ではどうだろう？

今回、朝ご飯と学力の関係について調べてみた。

朝食の摂取状況と学力調査の平均正答率の関係を示した資料がある（図1）。朝ご飯をしっかり食べている子どもは、食べていない子どもと比べ学力調査の正答率が高い。もちろん個人差があるので全てがそうであるとは言い切れないが、数字が傾向を示している。

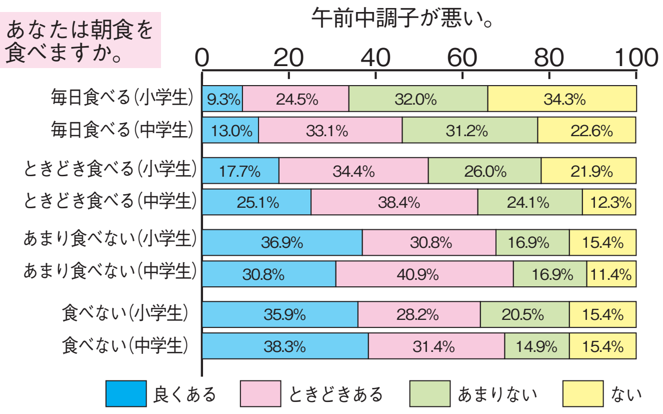
図1　朝食の摂取状況と学力調査の平均正答率の関係



出典：平成27年度全国学力・学習状況調査
資料に関する調査とのクロス集計結果（さいたま市）

では、何故差が付くのか？朝食の摂取に関して興味深い資料がある。「朝食の摂取状況と心身の不調との関係」に関するものだ（図2）。これを見ると朝食を食べていない子どもの2／3近くが午前中は調子が悪いと答えているが、これは毎日朝食を食べる子どもの倍近い比率となる。この資料には、小学生について「なんでもないのにイライラする」という項目もあり、こちらも同様の傾向が出ている（資料・詳細は割愛）。

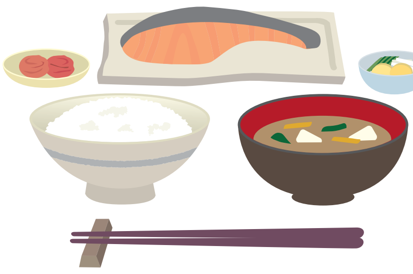
図2　朝食の摂取状況と心身の不調との関係



出典：文部科学省「睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査」（平成26年度）

これらの資料から、朝ご飯を毎日食べる子どもの多くは、心身の調子が安定しており、結果授業に集中できるのではないかと推測できる。

朝食を食べない理由としては、「時間がない」「食欲がない」といった答えが上る。これには起床時刻が遅いことが少なからず影響している。早寝早起きを実践し、生活のリズムを整え美味しく朝ご飯を食べる、これが学力向上の第一歩ではなかろうか。



いくつになっても発症？
意外と知らない食物アレルギー

摂取した食べ物が原因となり、じん麻疹・湿疹・下痢・咳などの症状がおこる食物アレルギー。その多くは乳幼児期に発症し、年齢が進むにつれて軽快することが多いといわれている。数は減るものの学童期以降、成人になってから発症することもある。うちの子は大丈夫と思っていても、ある日突然発症してしまう可能性もあるのだ。

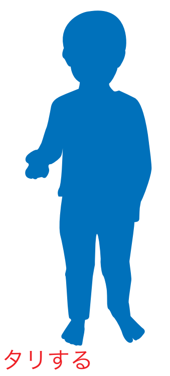
乳幼児期のアレルギーの原因は鶏卵・牛乳・小麦が多く、全体の90％以上を占めるといわれている。学童期以降に発症する場合には、甲殻類・果物類・そばなどの頻度が増えるようだ。

また、原因となる食べ物を食べただけでは発症しないのに、食後数時間以内（多くは2時間以内）に運動を行った場合に誘発されて起こるアレルギー（食物依存性運動誘発アナフィラキシー）もある。これまで食物アレルギーとは縁がなかったのに、部活などで激しい運動をするようになる小・中学生時代に初めて発症するケースが多いため、初回の発症を予測するのは難しいといえる。この場合の原因食物は小麦・甲殻類が多いようだ。

食物アレルギーで一番怖いのはアナフィラキシーショックといわれる食物摂取後15～30分位のうちにおきる多臓器のアレルギー症状である。急速に血圧が低下して意識の低下や脱力をきたすような場合には、直ちに対応しないと生命に関わるため、迅速な対応が必要だ。

アレルギーを発症した際の代表的な症状は左図の通り。

体の部位とアレルギー症状



目
充血、かゆみ、
目のまわりのむくみ

口・のど
唇・口の中・舌の違和感やはれ、
のどの締めつけられる感覚、
のどのかゆみ、イガイガ感、
声がかれる

その他
食事やおやつの後に、
ゴロゴロしている、元気がない、グッタリする

皮ふ
かゆみ、じんましん、
むくみ、赤くなる、湿疹

鼻・肺
くしゃみ、鼻水、鼻づまり、
せき、ゼイゼイ、呼吸困難

おなか
腹痛、気持ち悪さ、
吐く、下痢、呼吸困難

参考：「セルフケアナビ食物アレルギー」平成20年2月厚生労働科学研究発行

このような症状があらわれたら、注意して冷静に経過を観察し、重篤な症状に移行していると思われる場合には速やかに救急車を呼ぶなどの迅速な対応が必要である。

いつ発症するとも限らない食物アレルギー。もし、その疑いがある場合には、医師に相談して検査を受け、適切に対処することが重要である。

団体割引等適用により
保険料が割安！

さいたま市PTA協議会
「児童・生徒ワイド補償制度（団体総合生活保険）」ご加入受付中です！

現在ご加入者数は
約15,000名！

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

賠償責任　高額な賠償にも備えを！

◆昨今の自転車事故増加等による高額な賠償責任に備える為に新規募集プランは全て支払限度額1億円！

「示談代行サービス」付で万が一の事故の際により大きな安心をご提供！

けがの補償　24時間補償で安心！

◆学校内でのけがはもちろん、休日も含め24時間けがを補償！
◆地震等、天災によるけがも補償！
◆細菌性食中毒等（ノロウィルス）や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償！
◆新プラン（TSPプラン）では病気による入院・手術も補償！

育英費用補償「扶養者」の万が一にも！

◆保護者（扶養者）の方が「急激かつ偶然な外来の事故」によってお子様を残して突然命を落とされたり、重度の後遺障害を被ってしまった場合には「育英費用補償」でサポート！

当制度の
お問い合わせ先・
パンフレットのご請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係
（事務局）さいたま市大宮区大門町3−1　大宮区役所東館1F
取扱代理店:東海日動パートナーズEAST
〒330-0063　さいたま市浦和区高砂2−2−3
（お問い合わせ先）TEL:0120-634−854
（受付時間）月〜金:AM9時〜PM5時（除.祝祭日）

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社（幹事会社）
担当支社：埼玉中央支店新都心支社
さいたま市大宮区桜木町1−10−17　TEL048-650-8378
共同保険会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
AIU損害保険株式会社

15-T10022　　2016年1月作成

広報紙30号のご意見・ご感想をお寄せください。　hotline@saitama-city-pta.jp